

黎明

立 春 祭
御昇天祭号

榮光新聞(「光」教
世一掲載分も含む)
地上天国集
御教示録
奇蹟集
説起集
信仰集
聖光集

「いつも言う通り、信仰の目的は魂を磨き、心を清める事であるが、その方法としては三つある。一は、難行苦行や災害による苦しみと、二は善徳を積む事と、三は高い芸術によつて魂を向上させる事



明主様御真筆

明主様の御救いについて

(その10)

人間と病氣(六) 会長 多田 光行

神様の御心を掴ませていただける魂に
なす。それでバラモン教の方は苦しんで

いるわけです。浄化作用の仕事をやつて呉れているわけです。そこ迄来ると、感謝してもよい事になって来るのです。」
 (教15・6・7)とお説きいただいたて居りますように、むしろ感謝すべきことで

運である。而も本教輪廓の大なる事は、

2面につづく

家庭顧みず子供おい

「急ぐ救済」お光配布

背中軽く、経済的にも救い

[illegible]

ご奉仕で
いたいた
おかげ

[illegible]

ビッコひきひきご用

階段から落ちて足にけが 野中タマ子

苦痛も消え、翌日ケロリ

[illegible]

れ、大層わやがてござました。御用ひの讀みしよをはきり見せていただきました。

それから所信にも數名の御守護を賜りました。結構と喜んでたのですが、二人の解任を告ぐはつてもう遅かつたのですから、昨年の二月に女が生れて、私も勤めをやめたのでそれ以後負担がかかるようになりました。それで家でその件を言がけようか、それも何事にも強い方法はないかなと思ふ身なへした。しかし安藤御師様はさせていだいていました。ある留置者の奥さんがお世話をしたので相談して貰へた。その時生れた「お念」困るということば、自分の魂がそのよなき世界にあるからで奥様が助かりかねたらしくにお金が入つてくるかもしれないが、それは是でないならばは従順法であつて根本的解決法にはあらず

果さなければならぬとて思ふ外です。とおつちやつた御言葉も彼の御用ひをさせたのだきまつた。そしてまた以前患者の方よりら最初は良女の病をもいたさない、最後は主人の命をもいたさない、だくように言きました。しかも必要な物ばかりで、金持ちがあらねばならぬといふことになり、給料明で請求書来たとつちういふかぬあと上頭つた。「田舎者で持つてきたのはせしあげましよう」といつていなかぬと二度、三度です。御用ひに對し御守護が預けられているのではないかと相成る程の放の御守護を賜わり、感謝で一拜とさきに

最近はず神降、明主様を身近近くに感じさせたい方を手にとること、は今までになく、全てお受け直し

[illegible]

入信10日目に
お導のお許し
胃手術に大きなご守護

篠原美智子

入信10日目に
お導のお許し
胃手術に大きなご守

とまどひたのです。そして翌
日は、どうか御守讀いながら、ま
るに、この病人をお救ひください
と一心に祈りました。

「胃手術をせよ、止めは大変
いいのと本人にいます。そ
の古は先生からお言葉をひ
ておられるのであら、もう
後でつてあれは危しうな
いから、私もこの手術を受け
まわりたいのです。迷つて
いますので、迷つてはな
まうとのことです。それも、願
ありまし、ごまかれはな
まのフのようなので、罪を天
にまわして後の問題を祈りま
う。いつて解りました。

お救ひをされた。御守讀
いながら祈りました。そして
行きます。明にもうすぐた
まのタンで、落ちたま
たと言われた。そして二
三日御守讀ながら、病院へ
くのが無事になる。そして
そして私も病人がなとな
われるまで一心に祈りまし
た。そして病院への入
上、面会時間はけいなので
またの病院とこの外患者
はじかたので、夜中に病
はじかして、病の自を
なが（能へい）のこと
ひたりました。

[illegible]

